

* * * *

ブラジルで A. Schäfer-Verwimp 氏採集のヤスデゴケ属の苔類標本中に、葉上片にオセルス (ocellus) を生ずる 1 新種をみつけた。この種は中国の *Frullania punctata* Reim. の 1 群によく似ているが、葉上片のみならず、下片や腹葉乃至包葉、腹包葉に至るまで ocellus が散布しているので直ちに区別が出来る。従来 sect. *Tamariscineae* に入れてあったが、このグループは小形で葉頭は円く (決してとがらず)、腹葉も小さく、幅も茎の 2 倍以下であり、タイプの属するグループと区別出来るので同 section 下の新 series とした。

□Webster, R.D.: **The Australian Paniceae (Poaceae)** 322pp. 1987. J. Cramer, Berlin, DM 120.00. オーストラリアのイネ科植物は種属が豊富で、スズメガヤ亜科やキビ亜科など光合成経路が C_4 のものが特に多く見られる。クリフードとワットソンを代表にして1970年代からイネ科植物のデータは精力的に整理され、それがコンピューターに蓄積されている。本書は完備したデータベースを駆使し、検索・記載文・分布・生態・開花期などを克明に出力している。少々見苦しい点はあるが、記述の形式がすべての種について一定であることは驚異に値する。キビ亜科の45属、種以下の308分類群が扱われ、文献・異名が要約されている。208項目にわたる特徴のうち、栄養部分に42、花序に52、小穂に104、包類に30、小花に63、染色体に1項目が割当てられている。葉身の断面構造や表皮の特徴が全然取り上げられていないのは残念である。しかし、 C_4 イネ科植物を知る上で貴重な文献といえる。巻末に用いた特徴の一覧表や詳細にわたる分布図が載せられていて便利である。

(許田倉園)

□文一総合出版：日本の生物，1989年1月号(月刊誌) 82 pp. 同社(東京都新宿区西五軒町 34-8). ¥850. 長く親しまれてきた中央公論社の雑誌「自然」やニューサイエンス社の「植物と自然」が出版界から消えてさびしかったが、1987年1月に文一総合出版の「日本の生物」が発刊されて本年3年目を迎えた。毎号「私の仕事」を紹介したり、植物や動物の観察や観察法、フロラやファウナの記事があり、本号は「琉球列島の生物」の特集である。また新刊紹介や古書情報まである。個人はもちろん、小学校から大学に至る図書館に備えられれば、ナチュラリストの生まれるよすがともなる。

(木村陽二郎)